

# KAZTEC co.ltd.

## 滋賀工場竣工のご案内

カズテック株式会社  
滋賀工場新築工事  
2021年8月～2022年3月

カズテック株式会社  
代表取締役 本田 淑久  
専務取締役 森藤 良夫  
製造部 統括部長 藤野 伸幸  
製造3部 部長 木下 勝之

株式会社澤村  
代表取締役 澤村 幸一郎  
建設プロデューサー 宮前 聡志  
設計 徳永 康治  
土木施工管理 万木 秀喜  
建築施工管理 森田 友都  
胡麻崎 望  
大橋 稜

Build by **SAWAMURA**



顧客と社員の幸福を見つめ、

さらなる発展をめざす新たな拠点へ。

中間柱のない大容量空間を採用し、

広々とした動線や、フラットな作業スペースを確保。

オフィス空間においても、ガラス張りのミーティングルームや

居心地の良いバルコニーを設けるなど、

社内にも社外にもひらかれた空間が完成しました。

地域に根差し、地域と共に成長していく通過点でありたい。

“ここから”はじまるカズテックの

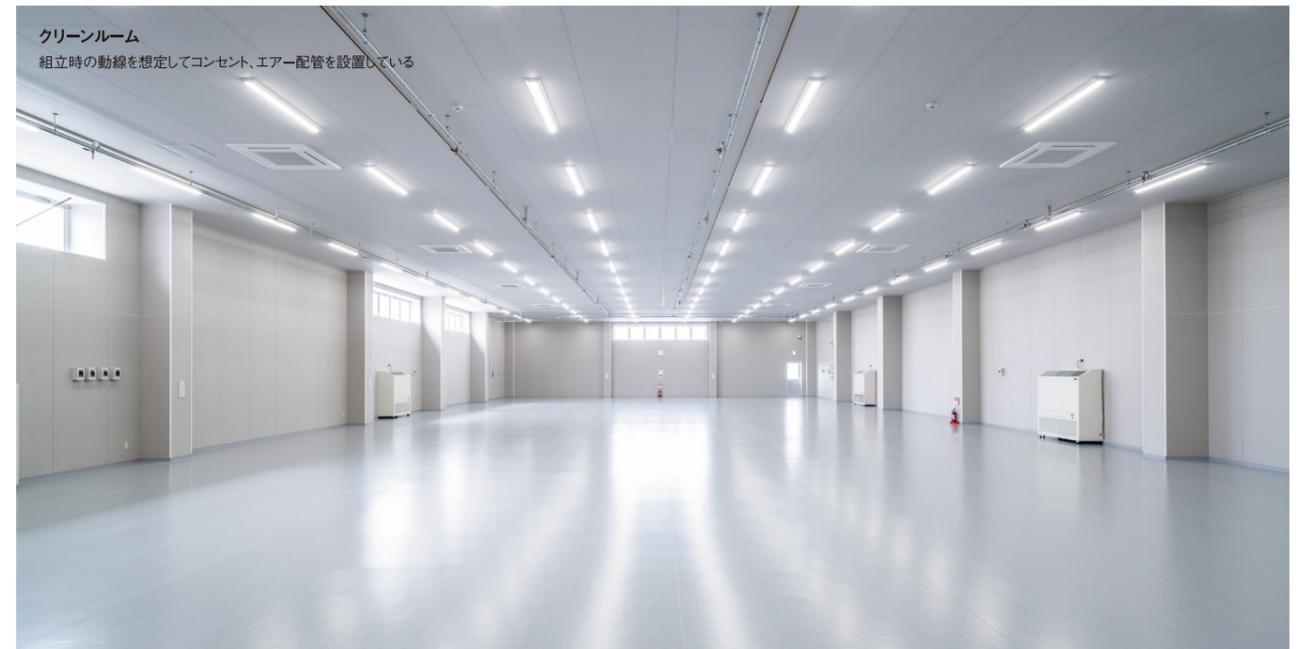
“これから”に、ぜひご期待ください。

**彦根から未来を見据える、  
機能美を追求した新工場。**





カズテック彦根工場  
敷地を有効活用し最大限の面積を実現



クリーンルーム  
組立時の動線を想定してコンセント、エア配管を設置している



エントランスに設置された応接室  
シックな黒壁と開放感のあるガラス壁で落ち着いた空間に



倉庫エリア



休憩エリア



リフレッシュできるバルコニー



2Fへ続くエントランスエリア



代表取締役  
本田 淑久



製造部 統括部長  
藤野 伸幸



製造3部 部長  
木下 勝之

## 滋賀工場は、ゴールではなく通過点。 さらなる発展のために、地域と共に成長します。

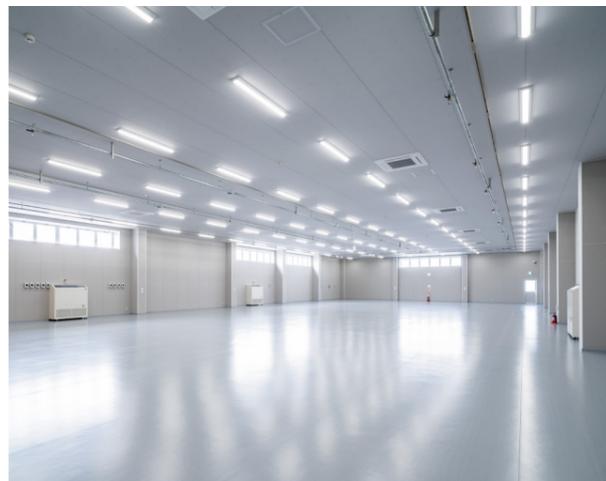
彦根エリアでの新たな拠点として竣工した滋賀工場は、どのような経緯で、どのような想いをこめてつくられたのか。新工場設立プロジェクトのコアメンバーに語っていただきました。

### 新工場設立の経緯を教えてください。

**木下** 当社は、本社が京都にあり、工場も京都を拠点に営業していました。会社が今後さらに成長していくために、新たな拠点を設立し、京都と新工場の2本柱でやっていこうというのが、新工場設立までの大まかな経緯でしたね。

**藤野** そうですね。それともう一つ、増えつつあった彦根エリアからの顧客ニーズに応えたいという想いもあり、近隣にお客様の工場が建ち並ぶ場所を中心に土地を探しました。

**木下** 新工場では、既存の仕事と新規の仕事の両方をまかなえるスペースも重要でした。従業員が作業しやすいゆとりのある広さと、フラットスペースにしてみんなの顔が見える空間…というのを漠然とイメージしていましたね。



### SAWAMURAさんに依頼する決め手となった理由は何ですか？

**藤野** ビルダーを決める際には、数社にお声かけしました。SAWAMURAさんは以前からダイレクトメールをいただいていたので知っており、デザインを重視されている印象で気にはなっていたんです。でも「高そう」というイメージが先行してしまい、迷っていました。

**木下** 実は最初にSAWAMURAさんとコンタクトをとったのは、早いものでもう4年前なんですね。当時から営業の方が話しやすく好印象でした。本田さんは、SAWAMURAさんに対してどんな印象でしたか？

**本田** 印象はよかったですよ。私自身、デザインや建築に興味があり、SAWAMURAさんに共感できるところが多々ありました。いろんな素晴らしい建築・建設・設計事務所があるなかで、じゃあ一体何を基準にビルダーを選ぶのか。弊社としては、せっかくなので地元のご縁を大切にしたいと考えました。滋賀なら滋賀のビルダーと組む、というようにね。そして、新工場設立を機につながり、今後もお互い協力しながら面白いことができればいいなと思い、SAWAMURAさんを指名させていただいたというところもあります。

### 内装や外観などのこだわりを教えてください。

**藤野** 3案のプランをご提案いただき、その中から内容を詰めていきました。2週間に一度は定例会議を開き、実際に現場で働く若いスタッフの意見も多く取り入れました。私は主にコスト管理を担当し、あとは若いスタッフたちに任せた！という感じでした(笑)

**木下** 2階にバルコニーがあるんですけど、提案当初からのSAWAMURAさんの推し案でした。正直、最初は「いる？」って話してたんですけど、いざ設置されると流石ですね(笑) 晴れた日にランチを食べると気持ちよくて、いい気分転換になるんですよ。私たち従業員の要望としては、やはり作業エリアを広く、人と物の動線をしっかりと確保することでした。完成してみて、とてもきれいで作業しやすく、朝の日課である掃除をするのも楽しいですね。

**藤野** いい建物が完成したと思いますね。ガラス張りの打ち合わせスペースもあり、お客さまからはいい意味で「工場っぽくない」と言っていただき、とても好評です。来てもらった方々に喜んでいただけるというのは、やはり嬉しいですね。

**本田** 全体的にみて、働きやすくなったと思います。働きやすさを高めるための“カフェのようなスペース”は大切かもしれませんが、まずは“工場としての機能”を高めたかった。それができてよかったです。



### 新工場とともに創っていく、 将来のビジョンを聞かせてください。

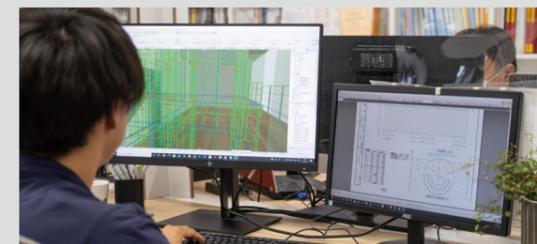
**藤野** 「カズテックで働きたい！」という人を増やしたいですね。働きがいや楽しく働ける社風を印象付けるために、工場のデザインはかなり重要です。今回の新工場は、そんなカズテックの魅力を発信できる建物になったと思います。

**木下** まずは、新工場を軌道に乗せることが私の役目です。目の前の仕事を丁寧に行っていくなかで、次のステップを見つけていきたいと思っています。

**本田** 京都で事業をはじめた15年。そしてこの度、新工場の竣工により、京都工場と滋賀工場の2本柱で展開していくこととなりました。しかし、我が社にとってこれは、ゴールではなく一つの通過点です。これから、ここから、もっと努力し、新たな事業にも挑戦できる拠点づくりも模索していきたいですね。そのときはまたSAWAMURAさんと組めたら嬉しいです。地域と共に協力しながら、みんなで成長していきたいと考えています。

### BIM (3D-CAD) とVRを活用した 打ち合わせについて

ビルダーであるSAWAMURAさんの提案により、BIM (3D-CAD) を見ながらの進行となった定例会。これにより、コンセントの位置や設備配管など建物の細かい仕様決定がスムーズに。また、最後の定例会ではVRゴーグルで工場内を3Dで体験。そんなビルダーとの充実した打ち合わせについても、メンバーに振り返ってもらいました。



**藤野** 平面図だけではわかりにくい部分が、3Dになることでよりリアリティを増し、互いが納得できるまで議論できたと思います。色調もその場で変更したのが見られるので、よりスピーディーに打ち合わせを進められました。

**木下** VR自体が初めての経験で、ものすごく楽しい経験だった！というのが率直な感想ですね。自分の視点から建物内部が見られて、スタッフたちの働く姿が手に取るようにイメージできました。